

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年1月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670300658
法人名	医療法人 昌成会
事業所名	グループホーム和音
所在地	鹿屋市大浦町14169-17 (電話) 0994-41-3778
自己評価作成日	平成27年12月15日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成28年1月16日(土)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・施設は広々とした山間に落ち着いた環境にあり野鳥、四季を彩る草木に囲まれ 介護(森林浴や散歩など)に取り入れている。利用者の昔馴染まれた山菜取りなども楽しんで頂いている。更に畑に季節の野菜を栽培し、それを収穫し食の安全に努めている。
・医療法人の運営している施設であり協力病院として月2回の往診と毎週火曜日の訪問看護を導入し体調維持に注意し努めている。
・近郊住民の方々からは季節の野菜を持って来て下さったり、3B体操の講師としても月1回訪問下さり体操指導を頂いている。
・毎日の日課として10:30~1時間のレクリエーションを実施し、レベル低下を防止している。午後から趣味活動としてその人らしく生活できるように支援をしている。
・歌、踊りなどの特技がある職員がいて日々の活動や行動に活かす事ができる。
・6月には紫陽花が庭園いっぱい咲き、他施設や地域の方々との交流の場としている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは、幹線道路に近く、つがひら岳の麓に位置し、山林があり自然豊かな環境である。また広々とした庭を配し、菜園には季節の野菜を栽培し利用者で収穫したり、地域の方で電動カーに乗り差し入れをして下さる高齢者もいるなど交流がある。年間行事計画を作成し手作りのおやつ作りにも力を入れている。
○理念は、開設当初利用者と職員がともに考えたもので、自然に触れながら自分自身の時間をのんびりゆったりと過ごし、ともに元気に過ごしたいという思いが込められている。理念は、毎日レクリエーションなどの前に利用者の代表が率先して唱和するなど利用者にも受け入れられている。
○母体法人は、整形外科病院も経営し、日々の生活では残存機能を活かし洗濯物たたみや食事の準備、片付けなどを毎日利用者の能力に応じて実施してもらっている。また、利用者の中には外来受診し、専門のスタッフのリハビリを受けて転倒防止や、足腰の筋力を維持したいとリハビリを継続している方もいる。また、訪問診療や訪問看護との連携、必要に応じて他科受診を勧めるなど適切な医療が受けられるよう努めている。ホームは、24時間医療が受けられるよう医療連携が図れており、重度化した場合の対応は事前に利用者、家族と文書にて意思確認書を交わしており、段階に応じてその都度説明し、同意を得て、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、目のつく所に提示して理念を確認しながら、毎日のレクリエーション時、入居者様と共に復唱している。	ホームの理念は、開設当初に利用者、職員と一緒に考えられたもので毎日利用者とともに全員で唱和され、利用者や職員に浸透している。職員は、理念がケアに活かされているか常に確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、回覧板などで情報を得たり、運営推進会議に出席を依頼し、意見交換を行っている。買い物は、地域の商店を利用している。	地域とは、町内会の一員として回覧版やホームの清掃活動を通じて交流している。野菜の差し入れをして下さる地域住民の方もおられ、散歩がてら近隣の住民と挨拶を交わすなどしている。昨年、地域の方々が参加するグランドゴルフを見学に行った。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	施設機能を活かして解放しているが生かし切れていない。近隣住民の方々と消防訓練、消火器、火災通報装置器説明を消防署員よりうけた		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の運営推進会議を行い運営状況、活動報告を行っている。また和音における様々な取り組みを職員全体で話し合い報告している会議で出た質問や要望に適切に対応し取り組んでいる。	管理者は、なるべく多くの家族が会議に参加できるよう働きかけている。メンバーは、ホームの抱えている課題に対し助言やアドバイスなどを提供し話し合い、出された意見は、よりよいサービスの向上に努められるよう検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議で町内会長、民生委員、地域包括支援センターの職員と情報交換や研修会の案内も頂いている。高齢福祉課とは、調査及び事業運営を報告し指導をうけている。	キャラバンメイトである管理者は、認知症サポーター養成研修を開催したり、市主催の研修会への参加を職員に勧めるなどしている。また、福祉事務所職員との連携体制も構築され、積極的に協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月1回ミーティング時安全管理委員会及び身体拘束委員会を開き、入居者様の安全及び身体拘束廃止に努めている。職員全員が入居者様の尊厳を大切にし言葉の拘束にも配慮、玄関の施錠もしていない	ホームは、鍵をかけない自由な暮らしを実践している。利用者自身が居室に施錠される方もおられるが、扉に板を張るなど工夫し安全を確保している。また、転倒防止のため鈴やナースコールなどを活用している。毎月のミーティングでは、勉強会やケース検討をおこない身体拘束の弊害について話し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月1回安全管理委員会及び身体拘束委員会を開催し、入居者様の安全及び身体拘束廃止に努めている。職員全員が入居者様の尊厳を大切にしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護及び成年後見制度について外部研修で習う機会がなかったが家族より相談を受け関係機関の紹介をした。今後、研修等し支援出来るようにしたい		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては、十分に時間をかけ説明を行っている。疑問点がある場合には丁寧に対応し納得いくまで説明を実施している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を毎年2回実施し、運営状況の説明や第3者機関への相談窓口などの説明を行っている。玄関には意見箱を設置している。利用者様には総会を年4回開催しサービスの向上に努めている。	年2回家族会を開催、また、利用者家族向けの総会も実施している。利用者や家族には面談して意見や要望などを聞きとるようにしている。運営推進会議への関心が高い家族も多く、出された意見などを、運営に活かすようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回部署会を行い、職員からの意見を反映している。それを元に計画し、改善事項を確認する。またミーティングを開催し、施設長との意見交換をし反映させている。	職員の個人面談は不定期ではあるが、運営者、管理者らが実施し意見や提案などを聞き取るようにしている。また、月1回部署会議を行い職員全員で話し合っており、出された意見を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎月1回運営会議を開き施設長に職員全体の仕事への意欲要望を報告し職員環境、整備をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>介護技術や知識をつけ自信を持って仕事ができるよう全職員に外部研修の参加を勧めた。研修報告を勉強会を通じて発表し全職員に学んでもらうようにした。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大隅グループホーム協会や包括支援センターが管理する地域の施設との交流や勉強会に参加し仕事上での困難なことや疑問に思うことを話し合い意見交換をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前から面接を行い本人の困っている事。不安な事、要望などを細かく聴き入居されてすぐに馴染めるように環境作りに努めている。また1人での時間を少なくするようになるべく話を傾聴する。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からの要望は入居者様のことが、ほとんどであり疑問や不安を抱かれないように面会時には個別記録を掲示するようにし説明を行うことで、信頼していただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の要望を理解した上で必要なら行政機関や他施設を紹介する事もあると思うが現在までは殆どの方々が入居頂いてサービスを開始している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様からは、日々職員も勉強になるような話なども多く聴かせていただいている。出来る事はしてもらい、出来ない事は一緒に行く。または、本人の目の前で行うなど信頼関係が出来るように仕事に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	無理のないように面会をお願いしている。面会時には家族との時間を設け、居室でゆっくりして頂くなど配慮している。電話なども活用している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族へ協力要請し、馴染みの場所や実家などへ外出を勧めている。知人や兄弟の方の面会に来ることがある。	利用者の出身地域にドライブがてら出かけたり、家族に協力をもらい美容院や墓参り、自宅に帰るなどしている。また、電話の取り次ぎや手紙の代読、代筆などを支援し関係性が途切れないよう働きかけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲良く支えあい共同生活ができるように職員が入り皆で物事を進める業務をしている。午前、午前に毎日レクレーション、ラジオ体操に参加し共有の時間を過ごしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院が長期で退居された方等退院後も面会に行くなどして安易に関係を断ち切らないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望や意向を話や行動、生活史など様々な視点より感じとりしてほしいことを把握し実行していけるようにしている。家族からも情報提供をお願いしている。	担当割りがあり、アセスメントは職員全員で実施し話し合い、本人や家族の思いを共有するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	話や行動、これまで、どのように過ごしてきたか。どのような考えで生活してきたかを把握できるように努めている。入居時のアセスメントも参考としている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の能力を把握し、出来ることへの参加を勧め、達成感を感じていただけるよう努めている。常に心身の状態の把握に努め楽しく過ごして頂く様に健康管理に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のミーティング時に施設長を含め職員で入居者様の課題について話し合い今後の入居者様の生活が向上していけるようにケアプランに取り入れている。家族の面会時にも意見をいただけるようにしている	毎月のミーティングでは、運営者や職員全員でモニタリング結果を話し合い、「ケアプランチェック表」を活用して「短期目標」を職員全員で共有するよう取り組んでいる。介護計画はアセスメントから抽出された本人の意向を反映した現状に即した計画書を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や業務日誌に日々の様子をしっかりと記載するように話を行い、毎日の朝礼や送り帳を活用し情報共有に努め、介護計画の見直しに努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人及び家族の要望に応じて話し合い外出や外泊のアドバイスや病院受診時の情報提供、紹介状を本人及び家族の負担を無くすようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様とドライブに行ったり買い物したり、地域の持っている資源を活用できるよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携は、常に行い入居者様の状態報告を行い緊急時の対応等配慮してもらっている在宅訪問医療も導入している。	主治医や看護師との24時間連携体制が構築されており、往診にも柔軟に取り組み適切な医療が受けられる。家族が付き添う外来受診時は、ホームが文書にて情報提供している。訪問歯科診療、薬剤師などの連携もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療管理が必要な利用者には看護職員の意見を参考にし、全身状態の観察や維持に活かしている。毎週1回訪問看護も実施し指導を受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時より担当ソーシャルワーカーと連絡をとり状態報告を受け把握し情報交換実施している。面会時も治療方針等の情報を頂き早期退院へ向け情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>緊急時の対応、重度化時の対応など書面にて家族に説明を行い署名、押印頂いている。主治医（施設長）の指導にて、利用者の生命と安全を確保する事を最優先し介護内容を検討している。訪看、訪問診療（24時間体制）導入している。</p>	<p>契約時、「ご利用者様の身体状態急変時の対応」を提示し、重度化した場合について、本人や家族の意向を確認している。現在、ホームでの看取りを希望されている方がおられ、過去に3例看取りを実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>月1回のミーティング時研修を施設長（医師）指導を受け徹底しているが、更に救急時の対応について法人主催の救命講習を消防署の指導を受けた</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎月避難訓練の実施し年2回は消防署、防災管理会社立会にて行っている。災害時の避難については運営推進会議で話題として地域の協力をお願いしている</p>	<p>年2回夜間想定避難訓練を実施しているが、消防署、防災管理会社立ち合いがある。しかし、地域の協力体制が薄い。職員は、毎月消火器の使用方法や安全点検、連絡網の確認をしている。ホームは急傾斜地崩壊区域に指定されており地域と協力体制を築き防災についての説明会にも参加している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護のマニュアルを作成個人情報の保護に努めている。職員に対しては日頃より言動へ注意し個人を尊重するように指導勉強会でも取り上げて意識を高めている。	年長者として敬い失礼のないよう言葉かけするよう努めている。法人は、職員の意識向上のため文書を配布し注意喚起している。直接的な介護では特にプライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声かけにて本人の意見を尊重し自適に生活でいきるように支援している。時にアンケート調査を実施し希望や要望を聞き日常生活に取り入れている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースを尊重し、無理強いやストレスがたまらないように支援している。本人の希望がある場合には、出来る限り実現できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の要望に合わせて身だしなみを整えている。身だしなみに興味を持たない方に対しては、家族と話し、昔好きだった衣類等を持参してもらい整容に努めている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活リハビリとして食事の下ごしらえや味見をしている。昼食は入居者様、職員一緒に摂取。また食事前にメニュー紹介をし食事への興味をもたれる努めている。	献立は、隔週ごと職員が交代で作成し、アセスメント時嗜好について確認している。利用者と一緒に作る季節のおやつ作り、保存食作りにも熱心に取り組んでいる。野菜を刻んだり、食器の片付け、食器洗いなど手伝う利用者もいて、菜園で採れる野菜も献立に活用されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の健康状態や体重の変化を個々に確認しながら、栄養バランス、献立の食事形態を配慮し摂取量や水分確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で出来ない方は職員が口腔ケアを実施している。自分で出来る方は、本人にしてもらう。声掛誘導し時々職員が義歯洗浄を実施。清潔に保つように努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	プライドに配慮し個々の排泄ペースに合わせて支援している。排泄要求がない方の場合には時間ごとに誘導している。全利用者トイレでの排泄を支援している。	チェック表を活用し排泄のリズムを把握し、職員は夜間ポータブルトイレを活用する利用者の排泄支援やおむつ使用が減らせるよう時間ごとに本人のサインを見逃さずトイレ誘導してトイレで排泄できるよう自立支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便ができるように適度な運動を行い、水分補給、食事（食材）等などに気をつけている。それでも便秘の方に対しては、主治医に相談し必要なら緩下剤にてコントロールを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は基本的には週3回であるが身体状況や個々の希望に応じて支援を行い入浴を嫌がる利用者に対しては、馴染みの関係を活かし声掛の工夫で支援している。	利用者は年々重度化しており、職員が二人介助で入浴介助している。管理者は、運営者に現状の課題を報告するとともに移動用リフトの導入に向けて検討しているところである。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の入眠時間に合わせて誘導を行っている。夜間安眠していただく為にレクリエーションや趣味活動（日光浴）を勧めメリハリのある生活を送ってもらうように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容の説明を行い飲み忘れないように声掛している。処方箋はファイルしており訪問薬剤管理指導にて薬剤師より指導を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のレクリエーションや共同作業による生きがい作りを支援している。毎月の行事、趣味活動手作り食品を提供し変化のある毎日を送ってもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季を感じるホーム内周辺の散歩を楽しんでいる。みかん狩り、夏祭り、公園にも出かけている。希望があれば帰省墓参りなど検討し実現できるように努めている。	毎年、「年間行事計画表」を作成し、ホーム内と屋外活動に分けて外出を計画・実施している。日頃は、広大な庭で外気浴や散歩、お茶会などして周囲の自然を満喫している。また、家族の協力をもらって出かけられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭は少額を3人の方が管理しているが、その他の方には施設側で、すべて管理している。必要時は、預かり金から支出している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望がある方には電話や手紙を出せるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を変えたり聴きなれた音楽を流したり工夫し趣味活動で作成された、ちぎり絵や書道なども展示している。自然な空気（森林浴）、室温等にも配慮した生活を提供している。</p>	<p>互いのユニットはリビングを共有し、左右に居室や浴室やトイレなどの共有スペースが配置されている。ソファが設置してあり、思い思いに過ごせるよう工夫している。天井も高く高窓から自然の採光が望める。季節の生花が活けてあり、壁などに季節ごとの外出時の写真や習字などの作品が展示してある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人一人それぞれの自分の居場所があるようにその場所を無くさないように配慮している。ソファの位置を考慮し、入居者様同士で集える空間なども提供している。居室訪問も気軽にされるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には、落ちついた生活をして頂くよう本人の馴染みの物を持ち込んだり寂しくないように家族の写真などを飾ったり思い思いに部屋の装飾をし過ぎしやすいように配慮している。	基本畳部屋であるが、身体の機能に応じてフローリングにするなど柔軟に対応している。本人のこだわりや馴染みの物を持ち込み自分らしい個性的な居室を大切にしているが、安全面にも配慮しながら居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内の環境を整理しケガや事故を起こさないように配慮している。廊下、各居室、トイレ、浴室には手すりを設置している。個々の合わせた介助、見守りなどを考慮しなるべく自立できるように支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない